

認知症について学ぼう ～早期受診の勧め～



「老化による物忘れ」と「認知症による物忘れ」との区別がつきにくく、「年のせいでしょう」と思っていたら認知症に進行していたということもあります。老化による物忘れの場合、「昨晚、何を食べたっけ？」となったとしても食事をしたこと自体覚えており、ヒントがあれば思い出すことが可能で、忘れていることの自覚があります。認知症の場合、ヒントがあっても食事したこと自体忘れてしまい、物忘れの自覚ができません。「認知症かもしれない。でもまさか…」というくらいのうちに、一度、受診をお勧めします。

認知症は、誰にでも起こる可能性のある病気です。早期受診・治療することで、症状を和らげたり、薬やケアによって進行を遅らせたりすることができ、認知症の中には治療すると治るものがあります。また、症状が軽いうちに認知症と診断受けることで、ご本人がご家族とともに、これからの生活について考えることが出来ます。

認知症の相談は、精神科や心療内科ではなくとも、かかりつけのお医者さんにも相談可能です。相談の際には、「何を困っているのか、いつ頃から始まったのか、どんなことがあったのか」を聞かれます。いざ診察となると緊張してしまったり、慌ててしまったりする場合もあるため、前もって診察で伝えたいことや聞きたいことはある程度まとめておくことが有効です。

くぬぎずカフェ開催しています

佐藤病院にて、奇数月第2土曜日 10時～11時半にオレンジカフェ「くぬぎずカフェ」を開催しております。

オレンジカフェとは、認知症当事者やご家族など認知症に興味関心のある方ならどなたでも参加可能な交流の場となっております。

参加されている皆様は、認知症について学びつつ、情報交換の場、居場所として利用されています。お茶やお菓子を用意しておりますので気軽にご参加お待ちしております。



カフェ開催日のご案内

7月13日(土) 10:00～11:30

場所：佐藤病院外来棟

費用：無料

講師：佐藤病院 菅看護師

テーマ：認知症について知ろう

今後は季節にちなんだイベントも考えています！

※事前申し込み制ですので、下記問い合わせ先までご連絡下さい。

編集後記

新年度より、偶数月に認知症に関するお便りを発行することになりました。お便りを通して、認知症のことだけではなく、職員のことを知ってもらい顔の見える病院を目指していきます。

記事製作者：精神保健福祉士・佐藤